

令和 8年度 さいたま市立馬宮中学校 美術科 シラバス

<p style="text-align: center;">美術科の目標</p> <p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊に関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を赤穂する心情を育み、感性豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p>	<p style="text-align: center;">評価の観点等</p> <p style="text-align: center;">評価の観点</p> <p>①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度</p>
<p style="text-align: center;">学習の特色</p> <p>・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを目的とする創作及び鑑賞活動を行う。</p> <p>・身の回りにあるものの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる創作及び鑑賞活動を行う。</p> <p>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものの特徴や美しさなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組む。</p>	<p>①知識・技能 ○形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などの造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p> <p>☆授業において学んだ技法や作風を自身の制作に生かしているかどうか、制作した作品の内容を制作過程及び作品発表等で確認する。</p> <p>②思考・判断・表現 ○美術がもっている、身の回りにあるものの形や色彩、材料などの造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。</p> <p>☆作品の完成にいたるまでに、身の回りの物や材料などから制作のテーマを広げられえることができたか、また自身の制作テーマについて、調べ学習や実制作を通して深めることができたかを、配布されたプリント及び描き起こしたものの内容を確認する。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを観察して感じ取った形や色彩、質感の特徴や美しさなどを基に構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>☆授業で学んだ内容を、自分の生活や社会と繋げて考えられているか、またそれを自分の制作や生活のさらなる向上に生かそうとしているのか、授業全体の取り組み内容や振り返りシート等で確認する。</p> <p style="text-align: right;">評価規準：○ 評価方法：☆</p>